



414
A 125
21



第三百六号 十一葉

十月十日ガゼット抄訳

竊カニ私利ヲ挿サミ或ハ深ク私見ニ惑ヘル人
始ラク論セス昨日支那ヨリ達シテ今日ニ至
リ始メテ詳確ト為リノル報ヲ見テ雀躍慶賀セ
サル者ハ蓋シナカルヘシ大久保ノ談判平穩ノ
結末ニ赴クキテ終ニ能ク日本ノ國威ヲ殞サス
從來台也ノ一件ハ其直全ク日本ニ在ルヲ支那
政府ニテ羨望シタルハコソ五十万ポンドノ償
金ヲ出シテ其分ノ一ハ既ニ大久保氏ニ交附

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



シ其餘ハ教過ノヤフ期シテ之ヲ送ラント約
セシナリ又是ノミナラス支那政府爾來台地ノ
民ヲ制シテ允暴ヲ行フナカラシメント約セ
リ然レハ日本ハ悉ク其主張セシ所ヲ伸ヘ悉其
請求セシ所ヲ得タル者ニシテ大久保氏北京ノ談
判ニ於ケル功ハ次シテ諸子ノ蕃地ニ於ケル軍
功ニ下ラス其成績ノ著ルキトハ迥クニ西郷氏
ノ右ニ出ツト謂テ可ナリ中外ノ人最モ疑懼ニ
深キ者ニ至ルマテ大久保氏ノ斗膽ナルトハ曾
テ之ヲ疑フ者ナシト虽モ彼狡獪詐術ノヒヲ以

テ勝利ヲ得ントスル政府ニ對シテ日本果シテ
能ク其欺ムク所ト為ラサルヤ否人皆之ヲ疑ヒ
外人ノ中或ハ日本ノ失敗ヲ庶幾ムル情ニ掩フ
ハレテ明ラカニ羸輸ヲ見ルト能ハサル者アリ
又日本ノ宰臣其智支那ト鋒ヲ争フニ足ラサル
ヲ危フム者アリシカ此ニ至テ此等ノ衆疑一朝
ニ氷釋シ更ニ日本ノ東海ニ雄視シ万国ニ推重
セラレヘキ一證ヲ加ヘタリ
今回ノ事ハ日本ニ在テ實ニ無上ノ事ト謂フヘ
ク初メ副島ノ使命ヲ奉ルニ當テ支那若シ少

シク事理ヲ解シ仁慈ヲ知リテ輒スル副島ノ請
ヲ諾シ自カニ担当セテ生蕃ノ罪ヲ正サハ日本
ハ万国ノ為メニ今日ノ偉勲ヲ立ツルヲ能ハス
然ルニ支那避回シテ責ニ任セサリシニヨリ今
日ニ至テハ支那台地ノ蕃民ヲ制シテ其兇暴ヲ
止メントラ約スト虽モ其実ハ日本其兇暴ヲ止
メタル者ニメ太平洋中ニ往來スル海客ヲ為メ
ニ二十餘年來ノ一禍根ヲ殄チ得タルヲ日本ノ
切トナリソリ又今回ノ談判ニ於テハ曩キニ副
島ノ北京政府ノ口諾ヲ輕信シテ誤ヲ取リシニ

鑿カミテ慎テ其覆轍ヲ避ケ初次西郷ノ台地ニ
於テシエント談判●ル其後大久保ノ總理衙門
ト談判セル共ニ窮詰シテ辞色ヲ假シ、リシニ
ヨリ支那人久シカラヌメ其甘言ヲ以テ欺ムク
可カラサルヲ知レリ又償金ノ事ニ至テモ日本
ノ愚慮極メテ其宜シキヲ得テ日本ハ常ニ意ヲ
金貸ニ用ヒサル國ニシテ今回ノ事ノ如キモ償
金ノ多少ハ必スシモ問フ所ニ非ス其意偏ヘニ
支那ヲシテ非ノ曉リ過ヲ謝セシムルニ在リ然
レ氏既ニ其過ヲ謝スレハ必ス之ヲ衣スルノ實

ナカル可カラス然ラレハ又副島ノ時ニ於ケ
ルカ如キ反覆ノ恐レアリテ他年再々紛議ヲ生
スルニ至リ又言テ左右ニ託シテ今日ノ約ヲ逃
レントスルナキニ非ス故ニ今五十万テイル
ノ償金ヲ取テ其實跡ヲ遺ストキハ後年ニ至テ
支那復々道辞ヲ設ケテ約ヲ破ルナ能ハルナ
リ固ヨリ其償額ハ軍費ノ一分ヲモ填スルニ足
ラスト虽モ其多少ヲ論セサルナハ日本ノ常ニ
メ加フルニ日本ハ曾テ外國ノ為メニ放大ノ償
金ヲ要取セラレ屢其苦ヲ嘗メタレハ同病相憐

レムノ意ニ厚ツシ故ニ初メハ巨大ノ額數ヲ要
シタレバ其意真ニ必ラス之ヲ得ント欲スルニ
ハ非ス唯万国ニ對シテ諱アルヲ明トスルノニ
又此回ノ償金ハ日本如何ニカ之ヲ用ヒニカ近
頃我カ同業中ノ人矯誕ノ言ヲ放テ時事ヲ論シ
今日ニ至テ頗ル窘窮スル者アリ予敢テ其為ヲ
学フニ非スト虽モ予ヲ以テ之ヲ察スルニ日本
必ラス安リニ之ヲ^察セス蓋シ大ニ外人ノ望ヲ
厭カシメ且^ニ曾テ屢此薄弱ノ小國ヲ苦シメタ
ル諸邦ヲレテ赧然ムラムルノ處置ヲ為サン

一必セリ是レ固ヨリ臆^ス過キスト虽モ予カ
此語ハ彼某氏ノ放言ノ隨テ即チ敗露スルカ如
クナラサランノミ

支那政府ハ始終真ニ戰志アリシニヤ極メテ疑
フヘク其大イニ兵備ヲ為スカ如クナリシモ陽ニ
其勢ヲ示メスノシニモ其實ハ未タ必シク然ラ
サリシニ似タリ固ヨリ少シク^言兵ヲ發シテ処
々ニ備ヘ又屢外人ニ向テ種々ノ宣告ヲ為シ
ルトアレニ其宣告ノ如キハ蓋シ他ノ實備ト異
ナリテ一錢ヲ費ヤサスノ為スヘキ者ナレハ之

ニ拠テ虚勢ヲ張リタル者ニシテ其他百事恐ラ
クハ皆此ニ出テタルナルヘシ吾曹固ヨリ一人
ノ支那内閣ノ秘ニ典カル者ナケレハ其胸中
探リ知ルヘキ理ナシト雖モ事ノ状態ヲ以テ臆
度スレハ蓋シ支那日本ノ小ヲ侮ト、彼尊大ノ
口氣ヲ以テ之ヲ虚喝セント訂リシノミ一旦事
破ル、ニ及テ真ニ戰フノ意ナカリシトハ略疑
ヲ容レス然レモ既往ノ事ハ之ヲ論セヌシテ可
ナリ此ニ論スヘキ、唯今日ノ成績ニシテ其成
蹟ハ實ニ吾曹ノ踏^ルテ賀^スヘキ所ト為シ殊

ニ日本ハ能ク其威ヲ輝カシテ万国ノ觀ヲ驚カ
カシ更ニ一等ノ國位ヲ進メタル者ナレハ之ヲ
賀シテ尚餘ヲアリ嗚呼宇内ノ万国其レ誰レカ
之ヲ齊シウノ拍手喝采セサランヤ

十一月十日ヘテルド抄訳

日支講和ノ結末

中夜暗黒ノ後ニシテ始メテ天明アルカ如ク大
久保ノ使事既ニ一タヒ其功ヲ誤マケテ妖氛天
ヲ覆ヒ兵戈ノ慘將ヤニ近キニ在ラントスル際
忽チ一^閃ノ電光^石勢ノ黯澹ヲ破リ去月三十一

日北京ニ於テ講和ノ議成リ日大^十台地ノ兵ヲ撤
スル報トシテ支那政府五十万^テイルヲ出シ其
戦費ヲ一分ヲ償ハント約セシ報至リタリ余等
未タ其結約ノ寫シヲ得サレハ支那政府終ニ日
本征台ノ拳ノ正理ナルヲ義認シタルヲ抑日
本ノ辞屈シテ終ニ支那主管ノ權ヲ認メタルヤ
未タ知ルヲ能ハス近日其約書ノ公布アルヘケ
レハ遠カラスノ其詳ヲ得ヘキナレバ余等頻リ
リニ之ヲ知ラント欲スルノ情アリ
今回ノ事若シ真ニ兵端ノ開クニ至ラハ日本百

一勝ヲ保スル一能ハスノ而メ一旦敗ヲ取ル
一アラハ全國顛覆ニ其禍將ヤニ不測ナラント
セシテ幸ニシテ危フク其害ヲ免カレタルハ日本
ノ為メニ賀スヘキナリ日本ノ兵ハ其勇氣ト鍊
熟ト共ニ支那ニ勝リタレハ時々或ハ小勝ヲ得
ル一アルヘシ然レ氏初代ナポレオンノ語ニ不
言ヤ上帝ハ常ニ兵数多キ者ヲ祐スクト支那ノ
兵士回ヨリ柔弱ニシテ且不鍊ナリト虽モ支那
日ニ新兵ヲ徵發シ陸續戰地ニ送ラハ到底日本
ノ挫屈セン一昭然ニメ加フルニ曾テ長髮賊ノ

乱官兵ノ器具略備ハリ兵士皆其將ノ才略ニ依
頼シテ到处能ク奇勲ヲ奏セシヲ思ヘハ一概ニ
輕侮ス可カラサル者アリ此ニ由テ觀ル片ハ貧
弱ノ日本ヲ以テ富實ノ支那ト鉞ヲ争フハ極メ
テ危シト謂フ可ク况ニヤ北京ノ城下ニ迫リ
テ盟ヲ要セシ一ハ決シテ庶幾ス可カラサルノ
ニ
公平ノ心ヲ以テ今回ノ事ヲ觀ルニ二國ノ為ス
一所共ニ是トスヘカラス今日事情ノ外ニ顯ル
者ヲ以テ察スルニ初メ台地ノ事ヲ擧ケテ數回

清問ヲ為セシ間ハ支那鄙醜ノ道薛ヲ發ケテ問
罪ノ責ヲ回避シ後日ニ至テ之ヲ放囚ノ民ナリ
ト云フ其反覆ニメ耻ヲ知ラサル最モ惡ムヘニ
土ヲ有ツハ他ノ財産ト異ナラス既ニ其利ヲ亨
クレハ又必ラス其義務アリ支那既ニ台湾ヲ以
テ其版圖ニ屬ストモハ外國ノ人クル者ハ其政
府能ク土人ヲ檢査^東シテ尋常ノ法ニ從ハシメ不
幸ニシテ其地ニ漂流スル者ヲ兇殺スル等ノ惡
事ナカラシメシヲ望ムノ權アリ然ルニ支那其
義務ヲ怠リテ之ニ任セテ故ニ日本自カラ罪ヲ

正スニ籍口シテ其境ヲ侵スモ支那之ヲ詰ル
ヲ得サルナリ

又日本征召ノ舉ハ其初メ蓋シ薩摩ニ胚胎シタ
ル者ニノ琉球ハ原ト薩摩ニ屬セシニ曰リ薩摩
士族等生蕃ノ罪ヲ正スニ託シテ台湾ニ入り^國
テ其地ヲ奪領セント謀リシカ維新ノ事定マリ
政府ノ權威目植スルニ及テ之ヲ獨リ薩摩ニ托
ス可カラスト為シ西郷ハ固ト薩摩ニ名望マル
ヲ以テ之ヲ以テ總督ト為シ遂ニ此舉ニ及ヘル
ナリ此事ニ就テ政府ノ旨意四條アリ一ハ此
以テ

琉球新附ノ民ヲ懷
ノ意ニ諂フナリ一ハ他ノ武暴ナル士族ノ氣ヲ
洩サントスルナリ一ハ土地ヲ廣メント欲スル
ナリ又是ニ加フルニ蓋シ宇内ニ日本ノ美名ヲ
賣シント欲スル意アル者ニノ總テ日本ハ擬似
ヲ好ニ比年為ス所歐洲ノ賞嘆ヲ得ント欲スル
情ニ出クルト多ク今回ノ事モ亦恐ラクハ此ヲ
意トスル者ナリ日本ノ意若シ偏ヘニ生蕃ノ克
服ヲ懲スニ在ラハ文明諸國ノ賛辭ヲ得ルヘシ
ト虽モ右ノ如キ主意相湊マリテ此舉ニ及ヒタ

ルナレハ毫モ觀ルニ足ル者ナシ故ニ少シク事
理ヲ解スル人ハ皆日本ノ奸黠ヲ惡ミ支那ノ鄙
劣ヲ賤シメリ

支那償金ヲ出シ日本ノ撤兵ヲ請ヒタル一事ニ
就テハ中外拳ヲ之ヲ賤シマサルハナシ凡ソ今
日ノ事ヲ以テ日本ヲ不法ナリトスル者ヨリ觀
レハ總理衙門ノ諸大臣等万々金ヲ出シテ台湾
ヲ償スヘキノ理ナク殊ニ支那自カラ日本ヲ不
法ナリトメ而メ之ヲ賂ヲ納レタルハ最モ解ス
可カラス目今支那ハ諸回部ニ對シテ慮カルヘ

キ事多ク殊ニ北方境界ノ事ニ就テ魯西亞ト難
ヲ構フルノ虞アル時ナレハ此等ノ患害ノ一事
ニ群起セシトヲ懼レ其富ヲ以テ五十万^兩金ハ意
トスルニ足ラスト為シ加フルニ其兵備極メテ
不整ニメ且ツ誤テ日本ノ甲鉄艦施條銃及ヒ其
刀劍ノ利ヲ傳聞シ畏懼ノ情ヲ生シテ事ノ此ニ
及ヘル者ナルヘシト虽モ今此怯ヲ示ス片ハ獨
リ笑ヲ万邦ニ取ルノミナラス其他日ノ侮ヲ來
ス^レ幾何ナルヲ知ラス必ラス久シカラスメ今
日ノ失計ヲ悔ユル時アルヘシ曾テ英佛ト鎗ヲ

争ヒ終ニ其屈辱スル所、為リタルハ支那ニ在
テ深ク耻スヘキニ非ラスト虽モ今日膝行シテ
ヲ日本ニ謝シ復タ何ノ顔アリテ宇内ニ立シト
欲スルヤ

日本モ亦特ニ支那ヲ屈セリト云フノニ其他一
ニ實益ヲ收ムル^レ能ハス今回撤兵ノ約ニ依テ
其曾テ垂涎セシ土地ハ復タ之ヲ得ル^レ能ハズ
盖シ近來數日ノ間兵ヲ台地ニ曝シテ多ク其勇
卒ヲ失ヒ其瘡痛ニ苦シニタレハ今ハ之ヲ貪ボ
ルノ情前時ニ比シテ大ニ薄カルヘク況ニヤ

兵士ニ至テハ頸ヲ延テ歸日ヲ望ムナルヘシ又
會計ノ上ヨリ論スルニ其失フ所實ニ少々ナラ
ス僅カニ七十五万^圓金ヲ得ルモ其軍費ノ五分ノ
一ヲ償フニ足ラス加フルニ内外ノ諸条約及ヒ
其他ノ雜費等之ヲ詳算セハ蓋シ莫大ノ者ナル
ヘシ故ニ日本ノ意若シ真ニ問罪ノミニ在ラハ
支那政府ニ向テ一錢ヲ要請スヘキノ理ナリト
虽モ日本ノ内閣諸臣其償額ノ少キヲ觀テ大
イニ不滿ノ色アルハ深ク怪シムニ足ラサルナ
リ譬ヘハ日本ハ買人ノ羊毛ヲ買ハント欲シテ

亦ニ至リ却テ其頭髮ヲ剃去セラレテ歸リ來テ
尚其禍ノ小ナルヲ賀スルカ如シ
蓋シ日本政府久シカラスシテ其躁暴ナル兵士
ニ迫ラレテ新タニ事ヲ啓スルコトアルヘシ然ラ
サレハ兵士等其空閑ニ苦シミ自カラ相^傳擿^傳ス
ルニ非レハ政府ニ向テ乱ヲ作スニ至ルヘシ予
ヲ以テ察スルニ此後事ヲ啓スルハ必ラス朝鮮
ニ在リテ朝鮮ハ比年其日本ニ對スル頗ル無禮
ヲ極メ求メテ他邦ニ讐端ヲ開コントスル政府
ニ在テハ實ニ好口實アリ然レハ他日何事ノ起

ルモ之ヲ今日ノ論ニヘキニ非ス目下ニ無事ヲ
得タルハ目下ノ賀スヘキ所ニメ支那ハ之ニ目
テ其怯ヲ字内ニ示シ日本ハ其用兵ノ^主意獨リ
尙罪ノミニ非サルト及其國カ支那ト頡頑スル
ニ足ラスノ僥倖ニメ奇禍ヲ免コレタルトフ字
内ニ示シタルナリ

大島正七位 譯